

4. 古美術研究の啓発活動

- (1) 贅会初の試みとして「文化財保護」を目的とした寄付活動を行いました。国宝十一面観音をお祀りする聖林寺の新観音堂建立事業に際しまして、贅会より10万円を寄進させていただきました。(2021年11月、詳細はHPに掲載。)
- (2) 毎年、啓発活動の場として同窓祭を活用し講演会や展示会などを開催していますが、今年度はオンライン開催となったため参加を見送りました。また当初、同窓祭の通常開催を期して講演会を計画し、鎌倉在住の仏像修復師の方に講師をお引受けいただきましたが、残念ながら実施できませんでした。来年以降の実現を目指します。
- (3) 2(1)で記載した「古美術を語ろう会」には青学卒業生はじめ会員以外の参加も可能とし、ともに一日の行程を過ごすことで古美術鑑賞の楽しさなどの語らいの場としています。2022年4月開催の同会には非会員の方4名が参加しました。
- (4) 贅会活動を積極的にアピールする場として校友会会報誌「あなたと青山学院」を活用していますが、今年度は発行された3号すべてに記事を掲載しました。
- (5) 校友会HP内にある贅会ページでの情報発信を通じて贅会の活動を積極的に紹介しました。また、7月29日(金)に開催された「校友会アイビーグループ代表者会議」において贅会の活動を報告する機会を得、スライドを用いて最近の活動状況を紹介することができました。

2022年度 収支決算報告

会計：山崎 百合子

〔期間〕2021年9月1日～2022年8月31日

前年同様コロナ禍のため同窓祭でのイベント等が中止となる一方で、聖林寺への寄進事業といった新たな活動にも取り組んだ一年でした。決算数値は収入519,717円、支出239,143円で収支差額280,574円となり、その結果次期繰越金は1,401,977円となりました。内訳は収支計算書のとおりです。以下のとおり収入・支出の別にそれぞれの内容をご報告いたします。

1. 収入

- (1) 会費
今年度は書面総会のため会費は徴収しませんでした。一名の方よりお振込みをいただきました。(会費は会則に基づき「総会時等必要に応じて徴収する」とされています。)
- (2) 寄付金
107名の方から511,822円のご寄付をいただきました。1967年から2021年卒業の方まで幅広い世代の皆様にご協力いただきました。この場をお借りいたしまして、深く感謝申し上げます。
- (3) 贅デジタル版DVD売上金
機関誌“贅”デジタル版DVDの希望者(7名、39冊分)負担金を計上しています。なおDVD作成・送付費用は啓発活動費に計上しています。(“贅”は昨年6月に今後の保存を考慮してデジタル保管しており、希望する会員へDVDによるデータ提供を行っています。申込み方法等はHPに掲載しています。)

2. 支出

- (1) 通信費
会員や関係先との連絡通信費を計上しています。(総会関係費用は総会活動費に計上。)
前年実績より3,956円増となりました。
- (2) 資料費
各種資料作成費やプリンターのインク代等を計上しています。(総会関係費用は総会活動費に計上。)
前年実績より7,895円減となりました。
- (3) 事務備品費
紙類・ノート等の事務用品の支出で、今年度は支出がありませんでした。
- (4) ホームページ維持費
贅会HPの年間使用料で、前年と同額の支出です。
- (5) 現役活動支援金
今年度は支出しておりません。事業報告3(3)を参照願います。